

令和4年（2022年）8月5日

横須賀市長 上 地 克 明 様

横須賀市議会  
新型コロナウイルス感染症対策検討協議会  
委員長 西 郷 宗 範

新型コロナウイルス感染症への対策等に関する要望・確認事項について

新型コロナウイルス感染症への対策等について、下記事項を本書により確認いたします。

#### 記

- 1 爆発的な感染拡大により、7月の3連休の間、救急医療センターの来所者が急増し、周辺道路に渋滞が発生した。現在は、周辺駐車場や埠頭を利用することで渋滞は解消されているということだが、今後さらなる感染拡大があった場合に備えて、どのような対策を想定しているか、市職員の応援体制について検討しているか確認したい。また、救急医療センターの混雑は、コロナが疑われる際に市民がとるべき行動について周知が不足していることも要因として考えられるが、さらなる周知の必要性についてもあわせて確認したい。
- 2 現在のコロナ病床稼働率と今後の感染者の増加に対する備えを確認したい。また、現在の本市における医療のひっ迫状況について、コロナ以外の通院患者、手術を必要とする患者、急患等に十分対応できているかを含めて確認したい。
- 3 抗原検査の種類（定性・定量）、検査キットの種類（医療用・研究用）、PCR検査と比較した場合の感度の差、抗原検査・PCR検査の選択に当たっての考え方について改めて確認したい。
- 4 医療ひっ迫回避のために、医療機関を受診せずに自主療養できる自主療養届出制度の活用が推奨されている。そこで、以下のことについて確認し

たい。

- (1) 「みなし陽性」と「自主療養」の考え方について。
  - (2) インターネットが使えず、自主療養届出システムで申請できない人へはどのように対応するのか。
  - (3) システム上、BMIが30を超えると対象外となり先に進めなくなるなど、対面診療と異なり、患者個人の特性が考慮されないが、どのように対応するのか。
  - (4) システムへ申請すると「みなし陽性者」となり、システム利用条件上、健常者の軽症として扱われるが、容態が急変した場合の対応はどのようになるか。
- 5 帰国者・接触者相談センターの電話がなかなかつながらないという声を聞いている。同センターの対応を充実させることで、救急医療センターの混雑も避けることが可能になると考えるが、相談件数急増への対応状況について確認したい。
- 6 コロナ治療薬（抗ウイルス薬）の充足状況と今後の感染拡大に向けた備えに対する考え、医師会等との協議状況について確認したい。
- 7 ガウンやアイシールド等の感染対策物資について、コロナ感染症発生当初は国、県でとりまとめて医療機関等へ配付を行っていたが、現在どのような調達方法となっているのか。各医療機関による自己調達なのか、県等が管理し、配付する仕組みがあるのか確認したい。
- 8 厚生労働省は7月20日付の事務連絡「BA.5系統への置き換わりを踏まえた保育所等における感染対策の徹底について」で、自治体の判断で濃厚接触者の特定をしないことは差し支えないとしている。現在の本市の濃厚接触者特定の内訳について確認したい。
- 9 現在本市ではPCR検査ができる医療機関が100か所を超え、検査体制が充実してきた。また抗原検査キットが普及し、PCR検査が減少したことも踏まえ、本年6月19日に横須賀共済病院内にあった第2PCRセンターを閉鎖した。しかし、最近の感染拡大により、PCR検査希望者数が大幅に増加している。現状のまま推移、または増加しても現体制で検査受付は可能なのか。また、現体制での検査可能上限数について確認したい。

- 10 県のHPでは病床使用率が公表されているが、本市の医療ひっ迫度合いを指し示す指標はあるのか、あるとすれば市のHP等で公表することが可能か確認したい。
- 11 若年層のワクチン接種率が低いという統計が出ている。その理由をどう分析し、接種率向上に向けてどのような取り組みをしているか。また、現在、1、2回目のワクチン接種は、接種実施医療機関への直接予約が必要になるが、これにより予約が取りにくいということはないか、確認したい。
- 12 国は社会経済対策と感染防止対策の両立との方針を示し、行動制限を行わない状況であるが、BA.5の感染が増え、市民の不安も高い中で、本市としての考え方を確認したい。
- 13 職員の応援体制について、どの部署の職員がどの程度の期間、何人派遣されているのか。どのようなローテーションとなっているのか。本来業務に支障は出ていないか確認したい。
- 14 感染拡大が進む中、現在の救急車の出動状況（コロナ搬送とその他の搬送）、救急隊員の健康管理を含めた勤務体制の考え方について、今後の見通しも含めて確認したい。また最近、相次ぐ出動要請により消防署で休憩時間をとることが難しく、出先での水分補給等に理解を求める報道があった。本市ではどのような状況であるか、あわせて確認したい。